

【地域研修プログラムの特徴】

雲南市立病院は島根県東部の雲南市を含む雲南2次医療圏（土地面積は東京23区の2倍弱、圏域住民約6万人）の地域中核病院としての急性期入院診療を中心とした中程度の専門医療や根本治療に重点を置きながらも、地域に根差した病院としてプライマリ・ケアから在宅医療や緩和医療、終末期医療まで、幅広い医療を地域のニーズに沿って展開している。

当院では、医療資源（物的資源、人的資源、資金）が不足している医療現場で活躍できるマインドと実践能力を身に付け、地域包括ケアシステムのマネジメントやリーダーシップが取れ、医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、地域社会の貢献できる医師、地域医療を担う第一線者として活躍できる医師の育成を目指している。

このため、各基幹型研修病院の地域医療研修プログラムに加え、当院独自のプログラムを用意している。初期臨床研修での当院の「地域医療研修」プログラムの特徴は、以下のとおりである。

- ① 地方小規模市町村（非都市部、人口非密集地域、医療過疎地域など）の特性を十分に理解した上で、内科系・外科系を問わない、救急医療か慢性期医療かも問わない、日常診療の全てを網羅するプライマリ・ケアのあらゆる問題に対応できる基本的な診療能力の習得を目指す。
- ② 疾病に関わる身体状況のみだけでなく、心のケアや療養環境、患者個人だけではない地域そのものの健康状態まで気を配り、患者・家族、およびこれらを取り巻く地域構成要員とのパートナーシップを構築する能力の習得を重視している。
- ③ 中山間地域の限られた医療資源の中で、地域包括ケアシステムについての理解を深めるために、病院組織だけでなく、保健・医療・福祉・介護に携わるNPO団体、行政組織、住民自治組織等と連携・協力する能力の習得に重点を置いている。
- ④ 隣接する松江医療圏、出雲医療圏という医療資源が豊富な地域の都市型病院との連携を通じて、3次医療圏、さらに広範囲の生活圏の中での当院（地方小規模市町村の中核病院）の役割を考案し、地域医療を底辺側から見通す機会を提供する。

<一般目標 GIO : General Instructional Objective>

- ① 地域包括医療の理念を理解し、実践できる能力を身に付ける。
- ② 住民に関する保健・福祉情報の一元化、各職種合同による地域ケア会議の開催等、地域包括ケア活動に必要な知識・技能・態度を身に付ける。
- ③ 当地域での、救急医療を含めた医療体制の特性をよく理解し、地域中核二次医療機関として、一次救急患者の受け入れから入院、診断治療、高次病院への紹介・搬送、転院などを、他の開業医・他病院と連携しながら、患者中心の視点で適切にマネジメントできる能力を身に付ける。
- ④ 医療人として必要な基本姿勢・態度を身に付ける。
- ⑤ 患者・家族のニーズを身体・心理・社会的側面から理解し、疾患の治療や予防の観点と共に、その地域で暮らす生活者（住民）としての患者を理解し、生活者が豊かな人生を送ることができるよう、共に考える力を身に付ける。
- ⑥ 基本研修で学んだ知識・技術を実践し、日常外来でよく見られる疾患・病態の診断や医療静養の支援をチーム医療として、そのプロセスを理解しながらマネジメントする力を身に付ける。

<行動目標 SBO : Specific Behavioral Objective>

- ① 当地域での地域包括医療の必要性について理解する
- ② 当地域の健康問題を把握できる。
- ③ 当地域で共に働く保健・医療・福祉などの幅広い職種の役割について述べるができる。
- ④ 症例検討会やカンファレンスで、個々の症例について、医療のみならず、保健・福祉の視点から個々の症例独自の環境・事情について論じることができる
- ⑤ 紹介患者を適切に受け入れる手順を述べるができる。
- ⑥ 救急搬送患者の受け入れにあたって、救急隊員との引き継ぎ時に必要な事項を列挙できる。
- ⑦ 特定の患者について、問題を把握した上で問題対応型の思考に基づいた対応法を列挙することができる。
- ⑧ 高齢者で頻度の高い急性・慢性の疾患・病態（痴呆老人を含む）の診療上の主要な特徴を、若年者と比較して述べるができる。
- ⑨ 外来診療、入院診療での感染予防・褥瘡予防の主要な対策を列挙できる。
- ⑩ 診療に関する各種の書類（普通診断書、死亡診断書／検案書、介護保険意見書、訪問看護指示書など）の作成の手順を理解する。

<方略 LS : Learning Strategies>

- ① 研修医は指導医の指導、監督のもとに患者（救急、外来、入院、在宅等）の受持ち医として診療を行う
- ② 救急や診療所、在宅医療と直接つながりのある外来で診療を行う
- ③ 在宅医療に指導医と同行し、診療に従事する
- ④ 入院患者の担当医として診療を行う
- ⑤ 患者毎の社会的問題点まで含めたサマリーを作成し、指導医に評価を受ける
- ⑥ 症例検討・地域連携・多職種合同のカンファレンスに参加する
- ⑦ 指導医の監督の下、地域特性（疾病構造、環境など）に基づいた予防医療の実践に参画する

<評価 EV : Evaluation>

- ① EPOC2 または指定の評価表による評価を行う
- ② 当院で適宜面接評価を行う
- ③ 研修終了時に自己評価及び指導医評価を行う

住所 島根県雲南市大東町飯田 96 番地 1

指導責任者 院長 西英明

連絡先 0854-47-7529

事務局 雲南市立病院

キャリアサポート・育成センター

卒後臨床研修【地域医療】基本スケジュール

●このスケジュールはあくまで基本的なものを載せています。主体的に網羅しながら研修してください。

曜日	午前			午後		
	時間	内容		時間	内容	
月	8:00~9:30	地域ケア科病棟回診・カンファレンス		P M	診療	救急外来業務
	A M	診療	救急外来			病棟業務
			一般外来（内科）/病棟業務			（ケアマネ）
			（附属診療所）	16:30~17:00	一日の振り返り	
火	8:00~9:30	地域ケア科病棟回診・カンファレンス		P M	診療	救急外来業務
	A M	診療	救急外来			病棟業務
			一般外来（内科）/病棟業務			（訪問介護）
			（附属診療所、巡回診療）	16:30~17:00	一日の振り返り	
水	8:00~9:30	地域ケア科病棟回診・カンファレンス		P M	診療	訪問診療
	A M	診療	救急外来			救急外来業務
			一般外来（内科）/病棟業務			病棟業務
			※附属診療所	16:30~17:00	一日の振り返り	
木	8:00~9:30	地域ケア科病棟回診・カンファレンス		P M	診療	救急外来業務
	A M	診療	救急外来			病棟業務
			一般外来（内科）/病棟業務			（附属診療所など）
			※附属診療所	16:30~17:00	一日の振り返り	
金	8:00~9:30	地域ケア科病棟回診・カンファレンス		P M	診療	救急外来業務
	A M	診療	救急外来			病棟業務
			一般外来（内科）/病棟業務			（ボランティア活動参加）
			※附属診療所	16:30~17:00	一日の振り返り	

- ◎ 訪問診療は基本的に水曜日に実施しているが、適宜行うことも可能。また、附属診療所から訪問診療も可能
- ◎ 基本、木曜日を附属診療所とするが、曜日の変更は可
- ◎ 地域包括ケアカンファレンスなど積極的に参加すること
- ◎ 多職種（訪問看護、訪問介護、介護支援専門員など）連携研修は都度調整を行う